



ブラジル国花イペの花

ガラナ

旧移住センターの前で



神戸にまつわる物語特集です。

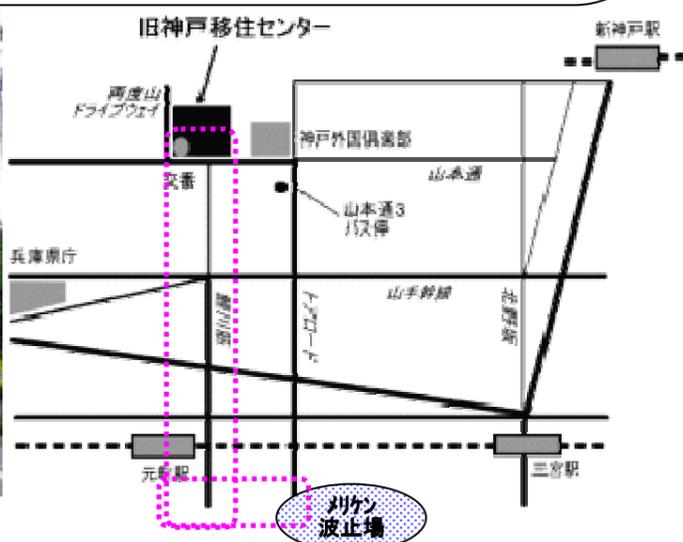
～来年、ブラジル移住100周年を迎えます～

ブラジル移住と神戸、何か関係あるの？と不思議に思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、現に私の世代でも、割と物知りの友人にそう聞かれましたから。。諏訪山にある、旧移住センターの建物も、知らない方がほとんどなのではと思います。

かつて地球の裏側にあるブラジルに移住する際、横浜・神戸の港から移民船に乗って旅立ちました。旧神戸移住センターは、故郷を離れ、一家でブラジルに渡る最後の数日間を、健康診断や予防接種、講和を聞いたりして過ごした、最後の日本の居場所となったわけです。そして、市長の会見の言葉(下記に掲載)にもあるように、日本に現存する移民に関する施設は、神戸の旧移住センターのみとなりました。ブラジルに渡って苦勞をされた日系人の移住者の方々、恐らく、出身地の故郷には家なども残っていない方が多いでしょう。移住者の方々の胸に残る唯一の日本の思い出の場所として、この移住センターの風景があり、日系ブラジル人の団体の皆さんから、昭和3年に建築され、老朽化したこのセンターの建物を保存してもらいたいという、切実な強い要請を受けました。この度、ようやく、国・県・市の3者で協力できる方向となりました。これを機会に、移民の歴史をひも解いて、神戸との関わりを市民の皆さんに知ってもらい、この歴史を後世に伝え、ブラジルとの交流を進めていこうとしています。



旧神戸移住センター



旧神戸移住センター

新神戸駅

高屋山
フライブレイ

交番

兵庫銀行

山本通3
バス停

山手幹線

元町駅

三宮駅

メリケン
波止場



H19年度
矢田市長の
予算案につ
いての定例会
見から～

来年はブラジル移住100周年、笠戸丸が神戸から出航して100年になりますが、**現在、移住に係る施設が日本で残っているのは神戸**だけです。

そこで諏訪山にある旧神戸移住センターを再整備し、移住の資料展示や在住外国人の支援、あるいは芸術交流の場として再生します。国と県と市の3者で対応し、**平成21年度の閉館**を目指します。

また、**ブラジルの国花で、イペ**という花がありますが、現在、移住センターの前などに植えられています。移住センターからメリケン波止場を結ぶ道路にイペの花を植栽して、移住坂と言われている坂を飾りたいと考えています。



フェスタ・ジュニーナの風景

旧神戸移住センターで開催された、ブラジルのお祭り「フェスタ・ジュニーナ」に行ってきました。午後からのダンス「クアドリーリャ」には参加できませんでしたが、たくさんのブラジル肉料理やブラジルのお菓子などが売られていて、関西在住の日系ブラジル人の人々にぎわっていました。



お祭りで売られていたブラジルのお菓子



移住を呼びかける
当時のポスター



この時に食べたお菓子の味が忘れられず、ブラジル料理の本を探しに書店に直行。1冊しかなかったので購入した本は、初版が1934年と、既に古本ではないか(笑)と思われるような本でした。もう一度写真を拡大して、お菓子の名前が「ベイジンニョ」であることを確かめてから、ページをめくってみました。材料のカタカナがさっぱりわかりません。ポルトガル語と日本語が併載されていて、はしがきの中に「ブラジルの家庭で作れる食物という点を主軸として、栄養に重点をおき、ブラジルの土地で安価に手にはいる材料で、誰でも出来易い料理の本をと心がけました」とあります。つまり、ブラジルの日系人の家庭用なんですね。1/3くらいは日本料理の作り方になっていて、ブラジルで手に入る食材で、何とか日本の味を食卓に出そうとしていた当時の日系社会の家庭の様子が浮かびます。お菓子を作るにはあまり約に立たなかったけど、意外な宝物に出会えました。



ベイジンニョ
BEIJINHO
3個 ¥100



ベイジンニョ、何とかチャレンジしてみたいです。

～移住坂について～



もっと詳しく知りたいな、と思われた方は、セルポート社(242-1161)発行の「移住坂」をどうぞ。

市長の会見の言葉に、「移住坂」という言葉が登場します。「移住坂」は、当時三宮駅と呼ばれていた今のJR元町駅から穴門筋・鯉川筋・城が口筋を上がり、諏訪山の旧神戸移住センターへと続く坂道を指します。当時の移住者の皆さんは、収容所(当時の呼び名は「国立神戸移民収容所」でした)での10日間ほどの滞在を終え、メリケン波止場へと続くこの坂道を、大きな荷物をかついで下りました。どんな思いだったのでしょうか。。

現在日本に暮らす日系ブラジル人の人々にとって、イペの花は、逆に祖国ブラジルに思いを馳せる、日本人にとっての桜のような花です。移住坂にイペの花を植えることは、遠く故郷を離れて異国の地に向かったかつての移住者の歴史を振り返ることであり、今、遠く南の国から慣れない日本にやってきて暮らす、日系ブラジル人の人々の心を癒すことにもきっとつながっていくと思われま。



元町駅南の交番は、ブラジル風(ポルトガル風)の様式で建築されています。